【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公表番号】特表2019-504754(P2019-504754A)
【公表日】平成31年2月21日(2019.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2019-007
【出願番号】特願2018-536850(P2018-536850)
【国際特許分類】
Ｂ０５Ｂ　7/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０５Ｂ　7/24

【手続補正書】
【提出日】令和2年1月8日(2020.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
注ぎ口を含む液体出口と、
前記注ぎ口の外側に半径方向に間隔を空けられた第１の接続形体とを含み、前記第１の接続形体が、
回転方向に沿って前記注ぎ口の周りを回転する面を含み、前記面が、第１の平らな区分及び第１の傾斜区分に沿って第２のアンダーカット部まで前記回転方向において円周方向に延びる第１の部分を含み、前記第１の部分は、第１のアンダーカット部から前記第２のアンダーカット部まで円周方向に延びる、スプレーガン収容容器構成要素。
【請求項２】
前記面が、前記第２のアンダーカット部から前記第１のアンダーカット部まで前記回転方向において円周方向に延びる第２の部分を含む、請求項１に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項３】
前記面の前記第２の部分が、第２の平らな区分及び第２の傾斜区分に沿って第１のアンダーカット部まで前記回転方向において円周方向に延びる、請求項２に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項４】
前記第２の傾斜区分が、前記第２の平らな区分から前記第１のアンダーカット部まで長手方向下向きに先細りになる、請求項３に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項５】
前記第２のアンダーカット部が肩部を含む、請求項１～４のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項６】
前記第１のアンダーカット部が肩部を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項７】
前記面の前記第１の部分に対応する第１の保持構造体を更に含む、請求項１～６のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項８】

前記第１の保持構造体が第１の捕捉領域を画定する、請求項７に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項９】
前記面の前記第２の部分に対応する第２の保持構造体を更に含む、請求項２～８のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１０】
前記第２の保持構造体が第２の捕捉領域を画定する、請求項９に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１１】
前記第１の接続形体がプラットフォームを含み、前記プラットフォームが前記面を含む、請求項１～１０のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１２】
前記注ぎ口が２２ｍｍ以上の内径を有する、請求項１～１１のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１３】
前記第１及び第２の保持構造体がそれぞれ、接触表面と、係合表面を画定するくさび体とを含み、更に、前記係合表面が前記接触表面から長手方向に間隔を空けられ、前記接触表面及び前記係合表面が結合して、対応する捕捉領域の少なくとも一部を画定する、請求項９～１２のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１４】
前記接触表面及び前記係合表面のうちの少なくとも１つが、システムの回転軸に垂直な平面に対してある角度をなして配置された平面を画定する、請求項１３に記載のスプレーガン収容容器構成要素。
【請求項１５】
前記プラットフォームが接触表面を画定し、更に、前記第１及び第２の保持構造体が前記接触表面から長手方向に離れて突出する、請求項１１～１３のいずれか一項に記載のスプレーガン収容容器構成要素。